日本語学習支援多言語サイトの開発と評価

国際交流基金関西国際センター 田中哲哉・角南北斗・上田和子

本発表の内容

- ・日本語でケアナビを事例に
- e-Learningサイトの評価の例
- ・サイトの改善作業と評価との関係
- ・開発に必要な教育的視点



日本語でケアナビとは?

日本語でケアナビとは(1)

- http://nihongodecarenavi.jp
- ・国際交流基金関西国際センターが開発
- 看護や介護に携わる日本語学習者が対象
- ・言葉の意味や使い方を学べるツール

トップページ (日英版日本語モード)



「食べる」で検索した結果の画面



「食べる」の詳細説明画面



例文

スタッフ 💛 \cdots 患者/利用者

ゆっくり たべて ください。 ゆっくり食べてください。 Please eat slowly.



このことばに付いているタグ

飲む・食べる 基本語彙 食事介助



- ・いれる
- おしょくじちゅうに しつれい いたします
- おしょくじは まんぞ くして いただけまし たか
- おりまげすぶーん
- かさねる(しょっきを

日本語でケアナビとは(2)

- 語彙8,000語 + 例文4,400 + 音声を含む 日本語学習データベース
- ・2007年7月に日本語/英語版を一般公開
- 2009年4月にインドネシア語版も公開し さらにサイトのデザインと機能を 大幅にリニューアル



成果の確認のための評価

評価: 事業成果の確認

- e-Learningには開発目的があり その目的に対応する結果が評価点になる
- 例えば特定の授業用e-Learningだと・・
 - ◈学習者の成績が向上した
 - ●受講生が資格試験に合格した
 - 授業の運営コストが削減できた

日本語でケアナビの場合

- 内容は看護や介護に限定されず仕事だけでなく日常生活でも使うツール
 - 授業での成績や資格とは直接結びつかない
 - ●利用者も限定せず汎用性を強みとする
 - Webで世界中に広く無料で提供
- 何を評価点と考えるべきか?

使われているか?を評価する

- 広く使ってもらうために開発している =使われているかを評価点とする
- ・使われることは簡単ではない
 - 授業などでの利用が前提のものではない
 - 開発側が利用を直接促すことができない
 - ●利用者が気に入るかどうかがすべて

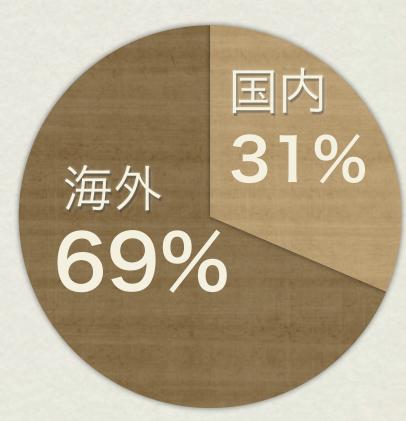
使われているか?の検証材料

- ・アクセスログの解析
 - Webサイトにプログラムを組み込み ページの表示回数やアクセス元のPC環境を 常時記録したもの(アクセスログ)の分析
 - 他媒体では難しい量的なデータが得られる
- 利用者の声 (反響や要望)

日本語でケアナビ2009年3月のアクセス解析結果

月間ページ表示回数85,662回

月間訪問者数 12,885人



アクセス地域の内訳

全体的な結果からは・・・

- ・使われている、と思われる要因はある
 - ◆ 公開前の予測を大きく上回るアクセス
 - ◆ 公開後2年が経過もアクセス数は伸びている
 - ●毎月一定の問い合わせ・反響がある

各機能で考えると・・・

- 声かけ表現のページ閲覧数が多い
 - ●切り口として重要だという開発側の認識は ハズレではなかったのでは
- タグナビのクリック率が高くない
 - 開発側としては自信を持っていた機能だが 使われていないとすれば理由は何か・・?

現状の評価と今後

- ・ある程度は「使われている」という成果
- ・使ってもらう人を増やすには 広報活動による認知度の向上が重要
- 利用者にサイトの魅力を理解してもらい 役立ててもらうには何をすればいいか?



改善のための評価

バージョンアップの理由

- インドネシア語 (多言語) 対応の必要性
- ・機能を追加してほしいという要望
- より使ってもらえるサイト=改善にチャレンジしたいという開発側の思い

やみくもに改善はできない

- ・時間や人や資金は有限
- 明確な方針に沿って変えていかないと できあがるものにブレが出てしまう
- それを変えることが改善になるのか?を 判断するための材料が必要

改善のための3つの指針

- アクセスログの分析項目のうち より「使われている度」に関係しそうな 項目を取り出して評価基準とする
- ・迷ったらシンプルな方を選ぶ
- あえて利用イメージを具体的に描き 提供したい学びを明確に打ち出す

改善のための3つの指針

- ●アクセスログの分析項目のうちより「使われている度」に関係しそうな項目を取り出して評価基準とする
 - ・迷ったらシンプルな方を選ぶ
 - あえて利用イメージを具体的に描き 提供したい学びを明確に打ち出す

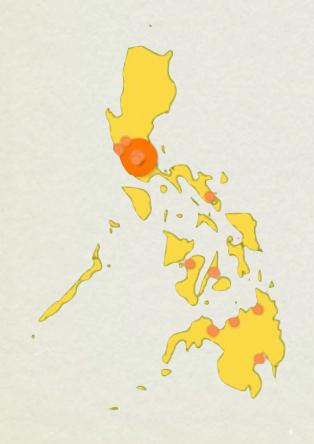
再訪者の割合 (2009年3月)

6ヶ月前の訪問までを再訪とカウント

再訪者は継続的に 活用しているのでは?



ターゲットであるフィリピンの アクセス解析結果(2009年3月)



平均閲覧ページ数

15.1ページ/人

全世界平均の2倍以上

平均サイト内滞在時間

15.0分/人

全世界平均の3倍近く

評価の目安を設定する

- ・複数回訪問者は利用頻度が高いので 継続活用している可能性が高いと考える
- 1人あたりの滞在時間長い、あるいは 1人あたりの閲覧ページ数が多いと それだけ熱心に使っていると考える

なぜ項目を定めるのか?

- 改善作業の前と後で数字を比較することで その作業が適切であったかどうかを 判断する材料になるから
 - 例えば、全体のアクセス数が横ばいでも 再訪者の割合が増えれば良い結果といえる

でも数字が絶対ではない

- ・想定する利用スタイル以外の使い方もある
 - ◆さっと検索して意味を確認するだけなら 利用頻度は高いが1回の閲覧ページは少ない
- インタビューや観察や感想メールなど 生の声でしか実感できないことも多い
 - ●アクセス解析とあわせて判断する

改善のための3つの指針

- アクセスログの分析項目のうち より「使われている度」に関係しそうな 項目を取り出して評価基準とする
- ○迷ったらシンプルな方を選ぶ
 - あえて利用イメージを具体的に描き 提供したい学びを明確に打ち出す

多機能化は簡単ではない

- ・要望は思いつきやすく寄せられやすい
- ・機能の追加はサイトを複雑にもする
- 複雑なサイトは機能の有無にかかわらず 使いにくく、使ってもらえなくなる

事例1:トップページ

- サイトには、3種類の検索だけでなく 便利なリストやコラムなども掲載。
- 好きなコンテンツに素早く移動できる 机の上のようなイメージ。

旧トップ



つかいかた | サイトについて | お問い合わせ

English

トップ 文字入力 タグナビ 50音表



/ 文字を入力してさがす 仕事で使える

さがす

例:歩く、あるく、aruku、walk

文字入力 ・ タグナビ ・ 50音表 で、ことば がさがせます。便利なリストを使って勉強で きます。

タグナビでさがす

おせわをする

∞ 気持ちを伝える

∞ 病院ではたらく

∞ 日本でくらす

職場のコミュニケーション



でも、しかたが なかったんで

便利なリスト







漢字から学ぶ 漢字リスト200

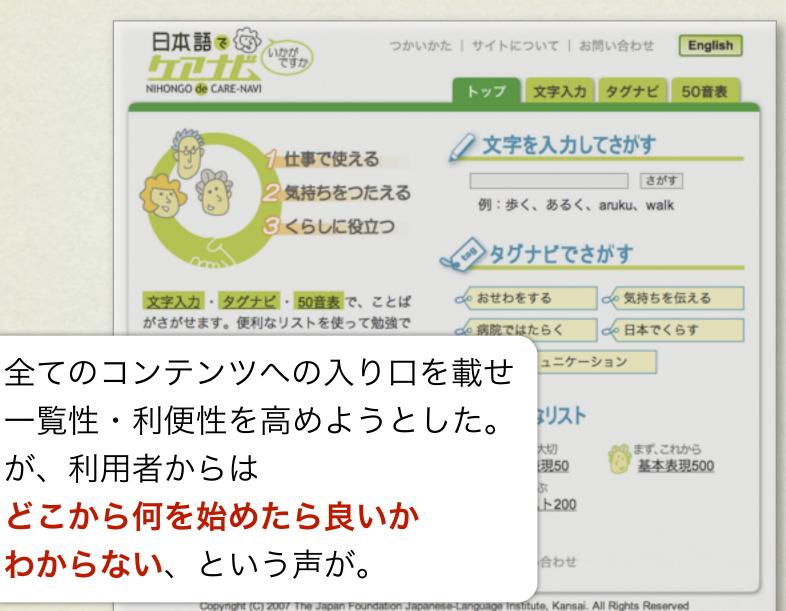
コラムほっとケア

日本の生活や文化知っていますか。

つかいかた | サイトについて | お問い合わせ

Copyright (C) 2007 The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai. All Rights Reserved

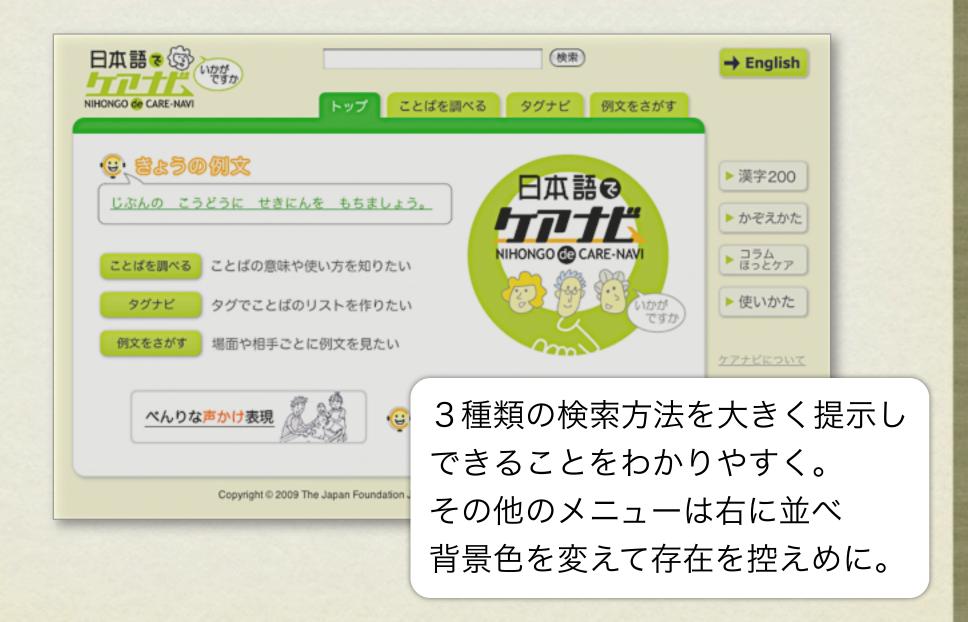
旧トップ



新トップ



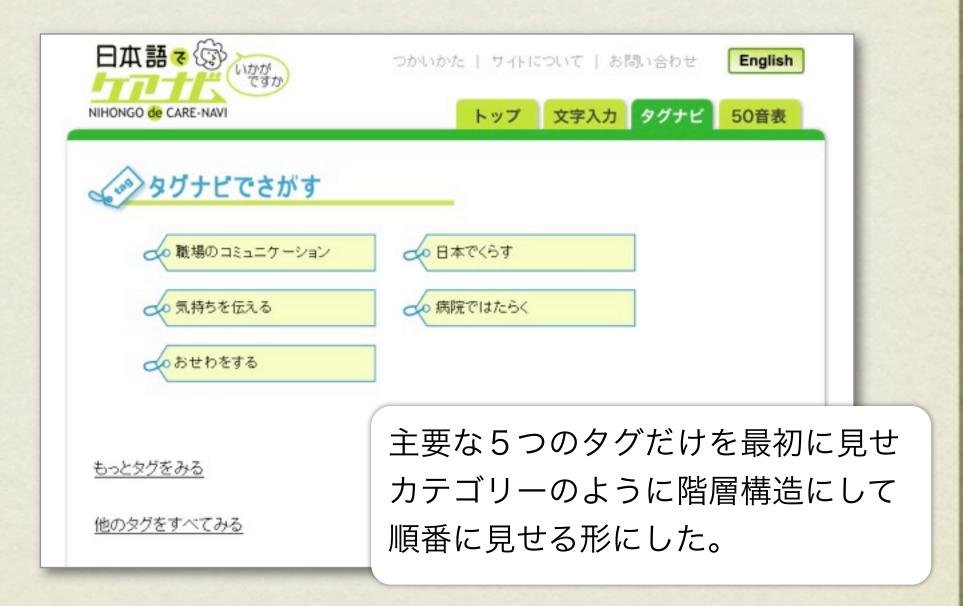
新トップ



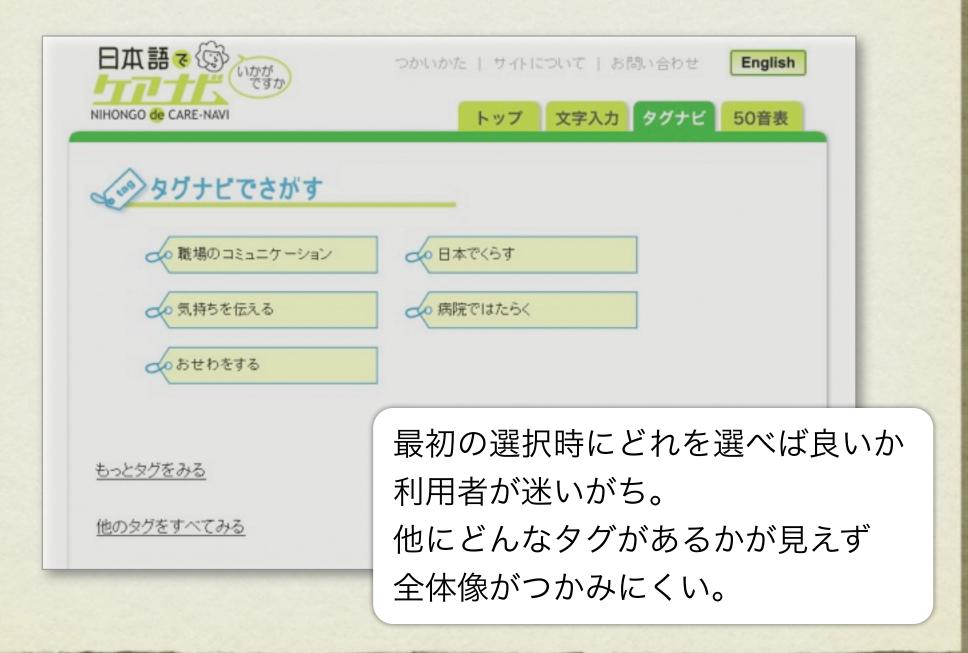
事例2:タグ選択画面

- タグナビは、タグ(キーワード)を複数選び それに関連する言葉を絞り込む機能。
- 声かけ + 入浴 など直感的に探せる
- タグが200種類近く用意されているのでいかに選びやすい形で見せるかが課題。

旧タグナビ



旧タグナビ



新タグナビ



じ タグナビ

いま 8129 件

検索

タグを選んでください

あいさつ 朝味遊ぶ あやまる 歩く 安心・不安 安全 移乗介助 痛み 位置・方位 移動 色 飲食物 動き うれしい・楽しい 運動 栄養 お金 怒る 教える・習う おなか お願い おむつ お礼 音楽 会議 外国・外国人 外国語 介護支援 外食 買う 顔・頭 書く 数 家族 悲しい・さびしい 体 ガン 環境をととのえる 看護 肝臓・腎臓 擬音語·擬態語 機械 器官 気管·肺 器具・用具 季節 基本語彙 気持ち 救急 給与と勤務時間 行事 行政 着る 薬 靴・服 車椅子 計画・予定 敬語 けが 原因・理由 健康管理 検査 口腔 (ケア) 太海 恵, 立 吉かけ 玉蔵 マル

新タグナビ



じ タグナビ

いま 8129 件

検索

タグを選んでください

あいさつ 朝味遊ぶあやまる歩く 安心・不安安全 移乗介助 痛み 位置・方位 移動 色 飲食物 動き うれしい・楽しい 運動 栄養 お金 怒る 教える・習う おなか お願い おむつ お礼 音楽 会議 外国・外国人 外国語 介護支援 外食 買う 顔・頭 書く 数 家族 悲しい・さびしい 体 ガン 環境をととのえる 看護 肝臓・腎臓

擬音語·擬態語 機械 器官 気持ち 救急 給与と 車椅子 計画·予定 口腔(ケア) 太温 ま

思い切って全てのタグを一覧表示。 どのタグからも自由な順番で選べ、 今いくつの言葉に絞り込めているか 常に表示するようにした。

改善作業の検証

- ・改善したページの閲覧数の推移を確認
- ・追加機能には利用回数を計測する仕掛けを

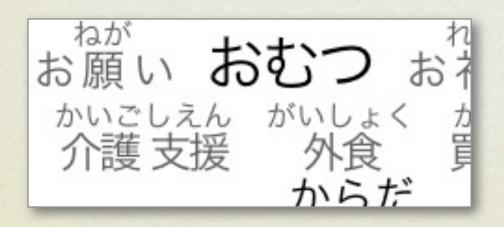


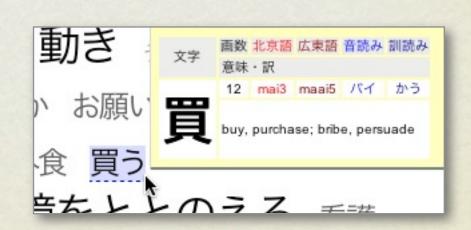
場面

- ●清潔保持 ○排泄介助 ○身体介助 ○移乗介目
- ○レクリエーション ○環境整備 ○送迎 ○死(
- ○談話室 ○検査をする ○検査結果を聞く 「
- ○診察室 ○処置室 ○薬局 ○入院生活 ○救
- ○手術 ○ナースステーション ○施設利用
- ○車椅子・歩行介助 ○食事介助 ○リハビリテー

他サービスとの連携という手

- 他のWebサービスを組み合わせることで 自サイトはシンプルなままで実現
 - ●ルビの表示 → ひらがなめがね
 - 意味や漢字の表示 → POP辞書





改善のための3つの指針

- アクセスログの分析項目のうち より「使われている度」に関係しそうな 項目を取り出して評価基準とする
- ・迷ったらシンプルな方を選ぶ
- ●あえて利用イメージを具体的に描き 提供したい学びを明確に打ち出す

万能なものは作れない

- 自由に使ってもらえるものを目指すが 使い方を何も規定しないのでは 何を作ればいいのか決められない
- ・誰に対しても良い!は難しい
 - ●同じものでも人によって評価が分かれる 平均をとると特徴のないものになりがち

方向性と柔軟性の両立

- 代表的といえる使われ方をイメージし その使い方だと便利に使えるように 機能やインターフェースを決めていく
- 一方で多様な使われ方を受け入れる 余地(柔軟性)も残すようにする

どんな学びを提供したいか

- ・使われかた=学びかた
- 「学び」については技術者任せではなく 教師が積極的に関わるべき
 - ●開発上の様々な判断には教育的視点が不可欠
- 作り手の意図が感じられるこだわりに 他にはない「使いやすさ」が出てくる



まとめ

開発と評価の関係

- ・まずは成果を確かめる評価方法を考える
 - アクセス解析と利用者の声の両面から
- ・改善のための指針をしっかりと立てる
 - データ分析だけでなく開発ポリシーも大切
- ・改善作業の評価を可能にする仕組みを

おわりに

- 開発にも評価にも教育的視点が不可欠。教師が積極的に関われる方がいい。
- そのために必要な開発/評価のノウハウを 教育界全体で共有できればいい。
- e-Learningの開発事例が増えることで 学習者の学びもより豊かになっていく。

ご静聴ありがとうございました

- ・日本語でケアナビ
 - http://nihongodecarenavi.jp
- ・こちら「日本語でケアナビ」開発室
 - http://nihongodecarenavi.net/blog
- KCクリップ (発表資料や教材の公開)
 - http://jfkc.jp/clip

